

信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 101 2017年2月

発 行：日本信頼性学会
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階
一般財団法人日本科学技術連盟内
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

日本信頼性学会 2016 年度信頼性フォーラム

「製品事故を繰り返さないために」～電子部品・電子機器の品質リスクを考える～

安心・安全社会を実現するため、あらゆる産業分野で、故障・事故の未然防止を目指した製品開発が行われています。その実現に向け、これまで培ってきた技術や経験・知見の伝承を含めた信頼性・安全性に係わる技術者の育成が重要になっています。このような課題に対し、本信頼性フォーラムでは、特に重要なテーマである故障解析技術と事故に繋がる故障／信頼性に関連する重要な問題を取り上げ、講演および議論を行います。サテライト中継も決定しました。詳細は学会 Web をご確認ください。

(日 時) 2017年3月9日(木) 1部 10:30～12:00／2部 13:00～17:00

(場 所) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル講堂 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 Tel : 03-5378-9853

http://www.juse.or.jp/upload/files/map_kouenji_160406a.pdf

【サテライト中継】日本科学技術連盟 大阪事務所 大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル 20 階

(主 催) 日本信頼性学会 <担 当> 日本信頼性学会 故障物性研究会

(後 援) 日本科学技術連盟 (依頼中)

(参加費) 当日受付にて徴収します (カラー資料有)

会員：7,000 円，非会員：11,000 円，学生：4,000 円 (2部のみ参加：各 2,000 円引)

懇親会 (東京会場のみ)：一律 2,000 円 (17:10～19:00)

(参加申込) 学会ホームページ <http://www.reaj.jp/> よりお申込ください。

(プログラム)

第1部 初級・中級者向けの故障解析基礎講座 味岡 恒夫 (OKI エンジニアリング)

主に故障解析の初・中級者を対象に基礎的な解説を行う。故障解析の流れ、電子部品の故障モード・故障メカニズム、故障箇所特定法、物理解析法を事例とともにわかりやすく説明する。

第2部 製品事故の深層と今後の品質リスクの回避に向けて

1. 電気製品に関わる製品事故原因究明技術 神山 敦(NITE)

独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE)では、事故情報を収集し、公正・中立な立場で製品事故について調査解析し、公表を行っている。製品事故情報の約半数を占める家庭用電気製品の事故原因究明調査についての手順、手法、ツール、解析事例について紹介する。

2. リチウムイオン電池の安全性 鷲島 真一 (群馬大学)

リチウムイオン電池を搭載した製品において、異常発熱や焼損などの事故が、現在も市場で起こっている。事故の原因として製造不良、予想外の過酷な使われ方、電池を搭載した製品としての設計不良が報告されている。リチウムイオン電池とはどのようなものか、構造、材料、充放電制御/保護系について解説するとともに、近年頻発しているリチウムイオン電池を搭載した製品の事故原因に迫る。

3. 電解コンデンサの信頼性問題 牧野 芳樹 (ルビコン)

電解コンデンサでは、液漏れによる基板障害、腐食断線、水和反応による短寿命という事故が相次いだ。これらは、電解液の変更、信頼性確認不足によるものであり、今後も同様の事故が起きるリスクがある。また、日本メーカを模した粗悪品問題にも言及する。

4. L18 直交表を用いた IGBT の部品選定～その価値とリスク～ 斎藤 彰 (村田製作所)

150°Cを越えるパワー半導体のジャンクション温度上昇に際し、温度加速試験が困難になってきている。コストと時間を最小限に抑え、かつ、事故の未然防止のため、品質工学を活用した部品選定を実施した。その価値とリスクについて考察する。

パネルディスカッション 「製品事故の未然防止のためにすべきこと」

コーディネータ：遠西 繁治 ビアメカニクス株式会社

パネラー：神山 敦 独立行政法人製品評価技術基盤機構

鷲島 真一 群馬大学 理工学部 環境創生理工学科 教授

牧野 芳樹 ルビコン株式会社

斎藤 彰 株式会社村田製作所

佐藤 博之 株式会社アドバンテスト

土屋 英晴 故障物性研究会主査 (株式会社クオルテック/元 株式会社デンソー)

(問合せ) 日本信頼性学会事務局 杉並区高円寺南 1-2-1 (一財) 日本科学技術連盟内

TEL03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

日本信頼性学会 第 25 回春季信頼性シンポジウム発表募集のご案内

(日 時) 2017 年 5 月 31 日 (水) 13:00~19:00 (時間は予定です)

(会 場) 一般財団法人日本科学技術連盟 本部 (新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階)

(主 催) 日本信頼性学会

(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟

(協 賛) 公益社団法人応用物理学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 一般社団法人電気学会, 一般社団法人日本機械学会, 公益社団法人日本経営工学会, 一般社団法人日本品質管理学会, 特定非営利活動法人安全工学会, 研究・イノベーション学会*, 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会, 一般社団法人日本開発工学会, 一般社団法人日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間工学会*, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会*, IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter (*は予定)

＜発表のおすすめ＞

例年のごとく総会に併せて春季信頼性シンポジウムを開催いたします。わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思っておりますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思っております。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

＜学会誌への投稿推薦のお知らせ＞

各セッションの発表の中から優秀なもの1～2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌「信頼性」への投稿を推薦しています。推薦された発表が投稿された際には、通常よりも短い期間で審査が行われます(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。また、推薦された論文が掲載可と判定された場合には、掲載時に必要となる諸費用が一部免除されます。

＜予定セッション構成＞

1. [組織, 管理, 規格, プロジェクト管理面]: 生産システム, 組織改革, 管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例. 管理手法適用事例, 人間信頼性, 社会との関わり, または新手法.
2. [試験, 故障解析, 部品, 要素技術の信頼性, ハードウェア面]: 部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析, 物性(接続, 接着, 腐食, 摩耗, 疲労, マイグレーションなど), 全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例.
3. [システムの信頼性, 保全性, ライフサイクルおよびソフトウェア面]: システムまたはソフトウェアの信頼性, 保全性, ライフサイクルコスト, リサイクル, リユース, 保全支援活動の設計, 解析, 保証事例・改善事例など.
4. [安全性, リスク]: 産業安全, 製品安全, リスク解析など.
5. [データ収集, 解析]: 情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など.
6. [理論, 一般]: 基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など.

＜参加費と発表者の特典＞

シンポジウム参加費 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 2,000 円, 非会員 3,500 円, 学生 1,000 円
情報交換会参加費 2,000 円 発表者(1名)は情報交換会にご招待いたします。

＜発表申込方法＞

申込方法 「発表申込書」に発表概要を記載の上、電子メールにてお申し込み下さい。申込書の Word ファイルは、<http://www.reak.jp/modules/eguide/event.php?eid=77> にあります。

申込期限 2017年3月13日(月)まで

審査結果 2017年3月21日(火)頃までにご連絡いたします。

発表原稿締切 2017年5月8日(月)【厳守】 ワープロでA4判2枚または4枚

申込先 日本信頼性学会事務局 FAX 03-5378-9842 E-mail: reak@juse.or.jp

日本信頼性学会 故障物性研究会 4月例会（第131回）

（日 時） 2017年4月21日（金）13:00～17:00

（場 所） 日本科学技術連盟東高円寺ビル（東京都杉並区高円寺南1-2-1）

（本部（西新宿）ではありません。お間違えのないようお願いいたします。）

* 東高円寺ビル地図 http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf

（議 題）

- 13:00～13:20 幹事会からの連絡事項
- ・新入会員の紹介、オブザーバの紹介
 - ・学会春季シンポジウムについて
 - ・その他
- 13:20～ プレゼン&議論
- 13:20～14:10 ①電子材料の異種金属間腐食 腐食防食学会腐食センター 石川雄一氏
- 14:10～15:00 ②電子装置向け腐食診断技術 日立製作所 南谷林太郎氏
- 15:00～15:10 (休 憩)
- 15:10～16:00 ③Air-HASTを用いたはんだフラックス由来のBrによるAu-Al接合部の腐食に関する耐湿加速性の評価
村田製作所 井上紘子氏
- 16:00～16:50 ④NITE業務報告会の樹脂、ゴムに関わる事故資料の紹介と分科会キックオフ
会員 ダイキン工業 西野裕暁氏
- 16:50～17:00 今後の予定
- ・6月例会（第132回） 6月30日（金） 日科技連 東高円寺
 - ・その他
- 17:30～19:30 例会終了後、懇親会を開催します。皆様のご参加を期待しております。

4月21日開催131回例会及び懇親会への出欠連絡は事務局宛に4月3日（月）までにご連絡をお願いします。

(reaj@juse.or.jp)

また、各種分科会への積極的な参加希望をお待ちしております。お問合せ、ご参加希望等は hiroyuki.sato@advantest.com までお願いします。

日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

当研究会は、信頼性シンポジウム、学会誌『信頼性』、解説書（『ライフサイクルコストリング—研究会は、信頼性シンポジウム導入と適用事例—』）の発行を通じて、Lcc (Life cycle costing) に関する様々な研究成果を発表するとともに、Lcc の啓発活動もおこなっています。

年に4回ほど、原則として金曜日の夜に日科技連会議室に集まり、2時間にわたる研究会を開催しております。前半の1時間は情報交換と称し、各メンバーが前回研究会から研究会当日までの間に収集したLccに関する情報提供などを行います。後半の1時間は毎回担当を決めて各自の最新の研究成果を報告し、質疑応答および討論を行います。なお、研究会メンバーだけではなく外部からゲストスピーカーを招き、Lccに関連性のあるトピックスで講演いただく場合もあります。当研究会以外のメンバーの参加も大歓迎です。

私たちと一緒にLccの研究を進めてくださる仲間を募集しています。Lccに少しでも関心がある方は、ぜひ研究会の会場にお越しください。お待ちしております。

(日 時) 2017年2月24日(金) 18:00~20:00

(場 所) 日本科学技術連盟本部(新宿区西新宿2-7-1 小田急第一生命ビル4階)

*本部ビル地図 http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf

(連絡先) 研究会主査 門奈 哲也 ged01402@nifty.com

同 副主査 古野 紀雄 n-furuno@ct.jp.nec.com

詳細は、http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45 よりご参照ください。

第49回横幹フォーラム「ビジネスイノベーションが先導する第4次産業革命(IoT/インダストリアル4.0)の実現に向けた産・学・官の役割と課題とは」

第4次産業革命により、つながりを持った価値共(協)創型の社会が創造される。本フォーラムでは、情報化の波がもたらす第4の産業・流通革命の意味すること、そして実現のために求められるパラダイム転換の方向について、ビジネスイノベーションの視点から問題提起をおこない、わが国における「IoTビジネスの将来展望」を実践的および理論的な観点から検討を行う。

パネルディスカッションでは、わが国の製造・流通業は、何のために、何に取り組み、何に戸惑い、何に困っているのかなど、わが国の産・学・官、各々における役割と課題について検討する。

(日 時) 2017年3月2日(木) 13:00~17:30

(主 催) 横幹技術協議会, 横幹連合

(会 場) 日本大学経済学部7号館講堂(最寄駅: JR 水道橋東口)

<http://www.eco.nihon-u.ac.jp/about/maps/>

(参加費) <参加費無料対象者>

・横幹技術協議会会員企業の関係者, 横幹連合会員学会の正会員, 学生

(ただし, 資料代1,000円が必要となります。当日, 受付にて申し受けます。)

<一般>2,000円(資料代込)

(プログラム)

開会あいさつ

桑原 洋(横幹技術協議会会長)

講演1 IoT時代のビジネスプロデュース戦略

三宅 孝之(株式会社ドリームインキュベータ 執行役員)

講演2 ビジネスイノベーションを生み出す価値協創手法

馬場 健治(株式会社日立製作所研究開発グループ 東京社会イノベーション協創センター サービスデザイン研究部 部長)

講演3 IoT市場の本質と市場獲得戦略

ー日系電子部品メーカーを対象とするインタビュー調査からー

近藤 信一(公立大学法人岩手県立大学総合政策学部 専任講師)

講演4 BtoBにおけるプラットフォームビジネスの競争優位戦略

丹沢 安治(中央大学大学院戦略経営研究科 教授 国際戦略経営研究学会 会長)

パネルディスカッション パネラー: 講演者の皆様

閉会あいさつ

鈴木 久敏(横幹連合 会長)

(問合先) (公社) 計測自動制御学会 事務局内

〒101-0052 千代田区神田小川町1-11-9 E-mail: office-kyg@trasti.jp Tel.Fax: 03-6675-4076

詳細は、 http://www.trasti.jp/forum/forum49_kyg.html よりご参照ください。

経営情報学会 2017 年春季全国研究発表大会 経営のデザインとプランニング

経営は、人々の営みであり、人々と人々の繋がりである。経営する側の独りよがりのデザインを、もう一方の人々の側は受けとめない。デザインを実現するプランニングにおいても、両側が生きるために手を携えてこそ、持続する経営となる。経営の設計と計画が、合理性と生命性の両立をめざす。経営情報学会の本大会のテーマはここにある。

(日 時) 2017 年 3 月 9 日 (木) ～10 日 (金)

(主 催) 経営情報学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 法政大学 市ヶ谷キャンパス (東京都千代田区富士見 2-17-1)

(基調講演) (3 月 9 日 (木) 13:00～14:00)

公益社団法人企業情報化協会会長・日本電信電話株式会社顧問 宇治 則孝 氏

(特別講演) (3 月 10 日 (金) 13:00～14:00)

香港大学文学部日本研究学科 准教授 中野 嘉子 氏

(問合先) 一般社団法人経営情報学会 大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

FAX : 03-3368-2827 / e-mail : jasmin-desk@bunken.co.jp

詳細は、 http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2017_spring/ よりご参照ください。

日本 OR 学会 2017 年春季研究発表会 (創立 60 周年記念大会) OR の新展開 —さらなる変革と融合と発展を目指して—

日本オペレーションズ・リサーチ学会 2017 年春季研究発表会は、創立 60 周年記念事業の一環として以下の要領で実施されます。詳細は今後 OR 学会ホームページ等で順次公開されます。なお、シンポジウムは併催されませんのであらかじめご了承ください。

(日 時) 2017 年 3 月 15 日 (水) 13:00～17 日 (金) 16:00 (予定)

(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 沖縄県市町村自治会館 (沖縄県那覇市旭町 116-37)

(内 容) 3 月 15 日 (水) 13:00～ 特別講演, 表彰式 (一般講演セッションはありません)

3 月 16 日 (木) 一般講演等, 懇親会

3 月 17 日 (金) 一般講演等

(特別講演) 外山俊明 氏 (全日本空輸(株)執行役員貨物事業室長 / (株)ANA Cargo 代表取締役社長)

松原 仁 氏 (公立はこだて未来大学教授)

田口 東 氏 (第 6 回近藤賞受賞, 中央大学教授)

(問合先) 日本オペレーションズ・リサーチ学会 2017 年春季研究発表会実行委員会

pj.ro.jsro@yreuq+s7102cn あてメールでお問合せください。

詳細は、 <http://www.orsj.or.jp/~nc2017s/> よりご参照ください。

第6回科学技術教育フォーラム 科学技術立国を支える問題解決教育 —社会との共創による新教育課程の実現—

21世紀の科学技術立国を担う将来の理数系人材育成は、産官学で取り組むべき喫緊の課題です。

1960年代から1980年代にかけて日本の技術競争力大躍進の背後にあった統計的問題解決法は、今日、課題解決とイノベーション創造のための21世紀型ソフトスキルとして、海外において広く普及定着し、企業のみならず学校教育の場で早期より体系的に教育され成果を上げています。

昨今、社会に生きる問題解決力の育成を目的として、新学習指導要領における新科目「理数探究」の創設をはじめとした教科横断的な学びや、子供たちの主体的・協働的な学びであるアクティブ・ラーニングの充実が指向されています。一方産業界には、主体的・協働的な改善活動を通して、問題解決力の育成を実現してきた歴史があります。未来を担う子供たちのため、この産業界が培ってきた知を共有し、産官学が一丸となった共創によって、新たな教育課程を実現してゆく必要があります。

そこで、小・中・高等学校、大学における教育関係者と品質立国日本を代表する産業界の関係者で、データの取り方、問題解決の考え方とその力の育成方法を共有することを目的として、日本品質管理学会 TQE 特別委員会の企画で第6回科学技術教育フォーラムを下記の要領で開催いたします。

ご参加のほどお願い申し上げます。

(日 時) 2017年3月25日(土) 13:00～17:30

(主 催) 日本品質管理学会

(共 催) 電気通信大学 西5号館 209号室

(参加費) 1,000円

(プログラム) <敬称略>

開会挨拶 (独) 統計センター 理事長／日本品質管理学会 会長 椿 広計
基調講演 社会に開かれた教育課程の実現 文部科学省初等中等教育局 視学官 長尾 篤志
第1部 海外での数理科学的問題解決教育の現状 東京学芸大学 教授 西村 圭一
第2部 社会との共創による問題解決力育成の実践
・地元企業とのコラボレーションによる主体的・協働的な問題解決教育の実践事例
山梨県立富士北稜高等学校 教諭 森嶋 真一
・統計データを楽しむ「新しいアクティブ・ラーニング教材」の提案
～データビジュアライゼーション アプリ E2D3 の活用方法～
E2D3.org 代表／株式会社インテリジェンス 五十嵐 康伸
第3部 パネルディスカッション
長尾 篤志, 西村 圭一, 森嶋 真一, 五十嵐 康伸 司会: 椿 広計
閉会挨拶 実践女子大学 准教授・TQE 特別委員会 委員 竹内 光悦

(問合先) 日本品質管理学会事務局 E-mail apply@jsqc.org TEL 03-5378-1506

詳細は、<http://www.jsqc.org/q/news/events/kagakugijutu6.pdf> よりご参照ください。

JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ」 学習・教育到達目標の水準の表現とその評価のためのポートフォリオ

一般社団法人日本技術者教育認定機構（JABEE）と公益社団法人日本工学教育協会（日工教）では、「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ」の第9回を3月25日（土）に開催させていただきますのでご案内申し上げます。

教育改善に取り組んでおられる方々の積極的なご参加をお待ち申し上げます。

- （日 時） 2017年3月25日（土）10:00～17:00
（主 催） 日本技術者教育認定機構（JABEE）、日本工学教育協会（共催）
（会 場） 東京電機大学 北千住キャンパス 2号館6階2603教室
<http://web.dendai.ac.jp/access/>（各キャンパスへのアクセス）
<http://web.dendai.ac.jp/access/tokyosenju.html>（アクセス千住キャンパス）
（申込期限） 2017年3月15日（水）（期限厳守）
（参加費） 2万円（教材資料・昼食込み）
ただし、下記のいずれかに該当する方は1万5千円
・ JABEE 認定継続中のプログラムからの出席者
・ JABEE 正会員である学協会(注)の個人正会員
（注） <http://www.jabee.org/outline/member/> の社員名簿にある学協会
・ 日工教の個人正会員
（問合先） 一般社団法人 日本技術者教育認定機構
〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館4階
TEL 03-5439-5031(代) FAX 03-5439-5033 E-mail : regist@jabee.org
または、日工教事務局 TEL03-5442-1021 E-mail : tsukuno@jsee.or.jp
詳細は、 <http://www.jabee.org/news/20170214/4026/> よりご参照ください。

ロボティクス・メカトロニクス講演会 2017 ROBOMECH2017 in Fukushima 再生と飛躍を導くロボティクス・メカトロニクス

本講演会はロボティクス・メカトロニクスに関する国内で最もメジャーな講演会です。今回は、「未来社会を創造するロボティクス・メカトロニクス」をメインテーマに開催します。全件ポスター講演での発表としている特徴を活かし、ロボティクスおよびメカトロニクスの基礎、理論、応用技術などに関する最先端の研究と技術について発表者と密な討論ができます。

- （日 時） 2017年5月10日（水）～13日（土）
（主 催） 日本機械学会 ロボティクス・メカトロニクス部門
（協 賛） 日本信頼性学会 他
（会 場） ビッグパレットふくしま（郡山市南2丁目52） <http://www.big-palette.jp/07access/index-g.html>
（問合先） 一般社団法人 日本機械学会 総合企画グループ
〒160-0016 新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
TEL03-5360-3505 FAX03-5360-3509 E-mail : kumagai@jsme.or.jp
詳細は、 <http://robomech.org/2017/> よりご参照ください。

2017年度 第1回 OR セミナー 「Python 言語によるビジネスアナリティクス」

(日 時) 2017年5月13日(土) 10:00~17:00
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) (株)構造計画研究所 本所新館 地下1階レクチャールーム (東京都中野区中央)
(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7階
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : jimukyoku@orsj.or.jp
詳細は、 <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html#semi1> よりご参照ください。

2017年度(第55回)日本接着学会年次大会

2017年度の年次大会は、関西大学千里山キャンパス100周年記念会館で開催致します。これまでと同様、「特別講演」「各受賞講演」、研究発表として「ポスター発表」と「討論発表」を行います。皆様、第55回年次大会に奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。発表申込ならびに参加要領の詳細につきましては、接着学会HP上で1月以降にご案内させていただきます。

(日 時) 2017年6月15日(木)~16日(金)
(主 催) 日本接着学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) 関西大学100周年記念会館 (〒564-8680 吹田市山手町3-3-35)
(講演申込締切) 2017年3月3日(金) 必着
(問合先) 一般社団法人 日本接着学会本部事務局
〒556-0011 大阪市浪速区難波中3丁目9番地1 難波ビルディング407号室
TEL06-6634-8866
詳細は、 <http://www.adhesion.or.jp/nenkai2017> よりご参照ください。

2017年度 第2回 OR セミナー 「地理情報システム入門」

(日 時) 2017年6月17日(土) 10:00~17:30
(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会
(協 賛) 日本信頼性学会 他
(会 場) (株)構造計画研究所 本所新館 地下1階レクチャールーム (東京都中野区中央)
(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会
〒101-0032 千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7階
TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail : jimukyoku@orsj.or.jp
詳細は、 <http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html#semi2> よりご参照ください。

安全工学シンポジウム 2017

日本学術会議主催「安全工学シンポジウム 2017」は、安全工学に関する各分野における問題点提起、優れた研究成果の講演と技術交流により、安全工学および関連分野の発展に寄与することを目的とし、特別講演をはじめオーガナイズドセッション、パネルディスカッション、一般講演等の開催が予定されております。皆様の多数のご参加をお待ちしております。

(主 催) 日本学術会議 総合工学委員会

(共 催) 安全工学会, 日本信頼性学会他 32 学協会

(会 期) 2017 年 7 月 5 日(水)~7 日(金) 【今大会より 3 日間開催となります。】

(会 場) 日本学術会議 (東京都港区六本木 7-22-34) 東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口

(発表申込締切) 2017 年 3 月 10 日(金) (予稿原稿締切) 2017 年 5 月 19 日(金)

(発表形式) 口頭発表 (1 題 20 分 (講演 15 分, 討論 5 分)) のみ

(発表申込方法) 講演希望者は、安全工学シンポジウム 2017 ホームページよりお申し込みください。

(予稿原稿) 審査の結果、採択された講演については、A4 判 2 頁または 4 頁の原稿を PDF 形式で提出

(参加登録費) 無料。講演予稿集は希望者に配布します (予価 1 部 5,000 円。但し、学生は 1 部 2,000 円)

(参加登録予約申込方法) なし。当日直接会場にお越し下さい。

(注意事項) 会場内における参加者個人での録音、撮影は禁止いたします。

(申込先・問合せ先) 特定非営利活動法人 安全工学会

TEL: 03-6206-2840, FAX: 03-6206-2848 E-mail anzen2017@gakkai-web.net

詳細は、<http://www.anzen.org/index.html> よりご参照ください。

防衛大学校 教官公募

(公募人員) 助教 1 名 (身分は特別職国家公務員です)

(所 属) 電気情報学群電気電子工学科

(専門分野) 電子情報工学及び信頼性工学に関する分野において理論とシミュレーションの両面から研究が行える方

(担当科目) 本科 (学部相当): 電気電子実験 I・II, 基礎電磁気学演習, 基礎電気回路演習, 電磁気学演習, 電気回路演習, 電気電子英語演習の補助

理工学研究科 (大学院相当): 専門分野に関連した実験演習の補助

(応募資格) ・博士の学位を有し (着任までに博士の学位を取得見込みの者を含む), 専門分野の研究上の業績を有する者

・研究上の業績が上記の者に準ずると認められる者

・平成 30 年 4 月 1 日における年齢が 60 才未満の者

(着任時期) 平成 29 年 10 月 1 日

(応募締切) 平成 29 年 5 月 8 日 (月) 必着

(書類送付先) 〒239-8686 神奈川県横須賀市走水 1-10-20

防衛大学校電気情報学群 電気電子工学科 学科長 森武 洋

*簡易書留で封筒に「教官応募書類在中」と朱書きのこと

*提出書類は原則として返却致しません

(問合せ先) 防衛大学校電気情報学群 電気電子工学科 弓削 哲史

TEL:046-841-3810 (内線 3321) E-mail: yuge@nda.ac.jp

詳細は、 <http://www.mod.go.jp/nda/recruit/files/files/1487545344php0hVj0r/290220-001.pdf> よりご参照ください。

「統計ユーザーのニーズに関する調査」へのご協力のお願い

現在、政府では、政府全体における EBPM (evidence-based policy making : 証拠に基づく政策立案) の定着、国民のニーズへの対応等の観点から、抜本的な統計改革及び一体的な統計システムの整備等を政府が一丸となって強力に推進するため、統計改革推進会議(議長:内閣官房長官)を設置し、統計改革の検討を進めています。

この検討に活用させていただくため、今般、総務省及び内閣官房では、国の統計を活用していただいている個人や企業、各種法人等の方々から、統計に関するニーズやご提案・ご意見をお聞かせいただく「統計ユーザーのニーズに関する調査」を実施することといたしました。

今後、国の統計等の利活用を一層促進していく上で、

- ①国の統計や各種データの内容
- ②国の統計等の公表や統計表・個票データの提供
- ③利活用を行う上で制約・支障となる制度やその運用

等の改善に関する皆様のご意見・ご提案・ご要望を平成 29 年 3 月 3 日(金曜日)までお寄せください。

統計改革を進めるために大切な調査です。ぜひご協力をお願いいたします。

※ 頂いたご提案・ご意見につきましては、統計改革推進会議に報告する必要があるため、恐縮ながら、調査に対する回答の受付期間を設けさせていただきましたが、期間以降に届いた場合も、可能な限り活用させていただきます所存です。

調査票や回答の送付先については、以下の HP をご覧ください。

http://www.soumu.go.jp/toukei_toukatsu/index/seido/survey.htm

(本調査に関するお問い合わせ先)

総務省政策統括官(統計基準担当)付 統計改革推進担当室 金子, 中村, 内山, 山下

TEL03-5273-5914 FAX03-5273-1181

行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
<u>Lcc 研究会</u>	日科技連本部 西新宿	2017/2/24		http://www.reaj.jp/module/s/pico/index.php?content_id=45
<u>2016 年度信頼性フォーラム</u>	日科技連 東高円寺ビル	2017/3/9		http://www.reaj.jp/module/s/eguide/event.php?eid=76
経営情報学会 2017 年春季全国研究発表大会	法政大学 千代田区富士見	2017/3/9-10		http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2017_spring/
OR 学会 2017 年春季研究発表会	沖縄県市町村自治会館/那覇市	2016/3.15-17		http://www.orsj.or.jp/~nc2017s/
JABEE-日工教共催「国際的に通用する技術者教育ワークショップシリーズ 第 9 回」	東京電機大学 足立区北千住	2017/3/25		http://www.jabee.org/news/20170214/4026/

故障物性研究会	日科技連 東高円寺ビル	2017/4/21		http://www.reaj.jp/module/s/pico/index.php?content_id=72
防衛大学校 教官公募	防衛大学校 横須賀市		2017/5/8	http://www.mod.go.jp/nda/recruit/files/files/1487545344php0hVj0r/290220-001.pdf
ロボティクス・メカトロニクス講演会 2017	ビッグパレットふくしま／郡山市	2017/5/10-13		http://jsme.or.jp/rmd/robomech2017/
2017 年度第 1 回 OR セミナー Python 言語によるビジネスアナリティクス	㈱構造計画研究所 中野区	2017/5/13		http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html#semi1
第 25 回春季信頼性シンポジウム	日科技連本部 西新宿	2017/5/31	2017/3/15	http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=77
2017 年度（第 55 回）日本接着学会年次大会	関西大学 100 周年記念 会館／吹田市	2017/6/15-16		http://www.adhesion.or.jp/nenkai2017
2017 年度第 2 回 OR セミナー 地理情報システム入門	㈱構造計画研究所 中野区	2017/6/17		http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html#semi2
MMR 2017 (10th International Conference on Mathematical Methods in Reliability)	Grenoble フランス	2017/7/3-6		http://mmr2017.imag.fr/
安全工学シンポジウム 2017	日本学術会議 港区六本木	2017/5-7	2017/3/10	http://www.anzen.org/index.html